

SHOKEI-GAKUSO

JOURNAL OF BUSINESS STUDIES

Vol. 59 No. 2

December 2012

In Commemoration of
Professor Akira Yagi

Published
by

THE SOCIETY OF BUSINESS STUDIES

KINKI UNIVERSITY

Higashi-Osaka, OSAKA, JAPAN

商
經
学
叢

第
五
十
九
卷
第
二
号

八
木
章
先
生
退
任
記
念
号

二
〇
一
二
年
十
二
月
近
畿
大
学
商
經
学
会

商 經 学 叢

第59卷 第2号

八木 章先生 退任記念号

2012年12月

近畿大学商經学会



八木 章先生御近影

論 文

献 辞	山口 忠 昭	
カウンセラーの倫理的葛藤解決について事例による考察	井 口 益 之	1
キャリアにおける主体的な仕事の取り組み ——キャリア・パースペクティブと 職業的アイデンティティに焦点をあてて——	桐 井 久美子	13
学生の課題提出に及ぼす学内ポータルシステム使用の効果 ——FDに対する応用行動分析学の手続き——	高 道 正 能	27
興行データベースから「古典芸能」の定義を考える	坂 部 裕美子	49
フェムト秒X線プローブで探索する超高速格子ダイナミクス	羽 田 真 毅・松 尾 二 郎	63
The Relation of the Purchase Effect by the Fractal Dimension and the SD Method of Product Packaging	雄 山 真 弓	77
ロジカル・シンキングとしての3分割法	市 毛 明	95
SAS [®] 言語で解く数独パズル	周 防 節 雄	131
自主防災組織の抱える問題と機能化へと向けての提言 ——全国ウェブ調査の結果から——	有 馬 昌 宏	169
江戸時代中後期における煎茶趣味の展開と煎茶道の成立	安 永 拓 世	185
人材は“育成”するのではなく“生育”させるもの	松 元 保 磨	209
中規模歴史博物館での新しい活動の展開 ——竹中大工道具館を事例として——	川 畑 茂 男	219
メンタルヘルス不調を予防するための会社の役割と従業員の役割 (安全配慮義務の具体化を目指して)	矢 野 功	233
障がい者のキャリア形成	大 窪 久 代	253
食糧自給率と安全性は比例するのか？ ——日本と中国の関係から考える——	勝 田 英 紀・服 部 義 昭・荒 河 文 雄	277
輸入食品汚染とバイオテロのいずれがより脅威か？	勝 田 英 紀	295
諸外国地域の証券取引所における持続可能性情報の開示規定の発展	川 原 尚 子	315

中国— ICT メーカー華為技術のグローバル経営	徐 方 啓	363
ユニクロの〈広告表象〉	妹 尾 俊 之	387
「キャリアの節目を考える」教育モデルの提案 ——「キャリアデザイン」受講生の身近な人へのインタビューを通して——	辻 隆 久	407
組織の吸収能力とイノベーション ——イノバティブ企業の事例研究を通して——	文 能 照 之	429
ワイマール共和国でのニックリッシュによる 経営経済学の教育についての一考察	牧 浦 健 二	441
内在化コミットメントの特質	松 山 一 紀	483
会計上の公正価値概念をめぐる諸問題	山 口 忠 昭	501
Approachability of the Guiding Figure: New Perspectives for Continued Organizational Career Support after Athletic Retirement	小 川 千 里	523
多角化戦略の罟	上小城 伸 幸	539
わが国の道路事業におけるレベニュー債導入の検討	後 藤 孝 夫	553
譲渡所得の課税趣旨に関する一考察	中 野 浩 幸	579
チャンネルとコミュニケーションの統合を通じた ブランド・エクイティ戦略	岡 山 武 史	591
経済的実質主義に基づく収益認識メカニズムの分析	姚 小 佳	613
研究ノート		
人事労務管理の「源流」を探る試行調査 ——三菱労務審議会資料を中心に——	中 島 敬 方	625
ニックリッシュの『経済的経営学』についての一考察（その②） ——『労働の組織』と『価値の流れ』の検討を中心にして——	牧 浦 健 二	657
音声入力を用いた発想技法支援システムの構築	鞆 大 輔	703
資 料		
大有田焼振興協同組合の設立とその背景 ……山 田 雄 久・筒 井 孝 司・吉 田 忠 彦・東 郷 寛		709

八木 章 先生の略歴

I 経 歴

1. 学歴

- 1944年1月 名古屋にて生まれる
- 1962年3月 愛知県立旭丘高等学校卒業
- 1963年4月 慶應義塾大学商学部入学
- 1967年3月 慶應義塾大学商学部卒業

2. 職歴

- 1967年4月 (株)竹中工務店入社 大阪本店 工務部原計課, 他2部門
- 1968年4月 同社 東京本店経理部 資金課
- 1972年3月 同社 本社情報センター(大阪) 計算部門
- 1973年1月 同社 本社情報センター 東京支所 コンピュータ運用管理担当
- 1974年12月 同社 本社情報センター(大阪) 担当常務秘書, 管理部, 開発部システム開発担当
- 1981年4月 同社 本社情報センター(大阪) 開発部開発課長, 情報部情報課長, 同企画課長を歴任
- 1993年5月 組合 中央執行部副委員長
- 1995年3月 同社 技術研究所 管理部長
- 1999年3月 同社 本社人事企画部長
- 2001年4月 (財)竹中育英会 事務局長(兼務)
- 2005年4月 近畿大学経営学部 助教授(准教授)
- 2009年4月 同 教授
- 2010年4月 同 特任教授
- 2012年3月 同 定年退職

3. 教育歴

- 1981~1999 竹中工務店 データ解析講座 講師
- 1986~2002 日本科学技術連盟 多変量解析研究会 指導委員
- 2001~2007 竹中工務店 セカンドキャリアセミナー 講師
- 2004 大阪国税局 管理監督職メンタルヘルス研修 講師

II 業 績

1. 著書

(単著)

- ①『キャリア・マネジメント』 2008年5月 (株)中央経済社 204頁

(編著)

- ①『多変量解析事例集第1集』 1992年11月 (株)日科技連出版社 吉澤正他

(共著)

- ①『多変量解析事例集第2集』 1997年3月 (株)日科技連出版社 吉澤正他 執筆11頁
- ②『多変量解析事例ハンドブック』 2002年6月 (株)朝倉書店 武藤浩他 共同執筆9頁

2. 論文

- ① 1981年5月 「ホテル建築における企画設計システム」
(財)日科技連 品質管理シンポジウム論文集 矢野貞一他1名 18頁
- ② 1984年3月 「多変量解析手法によるホテル市場の評価」 日本建築学会 電子計算機利用委員会 第6回電子計算機利用シンポジウム論文集 藤井雅彦他3名 6頁
- ③ 1985年3月 「The introduction of SAS software and the strategy used to spread its use」
国際SASユーザ会議論文集 6頁(同会議 教育・コンサルティング部門最優秀賞受賞)
- ④ 1985年6月 「SAS導入と普及戦略」 日本SASユーザ会論文集 6頁
- ⑤ 1987年10月 「ホテル建築における企画システムの開発」(財)日科技連品質管理大会 6頁
- ⑥ 2001年4月 「多変量解析新世紀へ」(財)日科技連 ENGINEERS '630 5頁

- ⑦ 2005年 1月 「企業実務の立場から見た安全配慮義務の実際とメンタルヘルス予防に取り組む姿勢」日本産業ストレス学会 産業ストレス研究第12巻第2号 矢野功 共同5頁
- ⑨ 2008年 7月 「奨学金財団と人材育成事業の役割」非営利法人研究学会 vol.10.7頁
- ⑨ 2008年 7月 「キャリアと人材教育」商経学叢 第55巻第1号 7頁

3. 学会報告等

- ① 1995年 4月 私の変量解析との出会い (財)日科技連 多変量解析研究会
- ② 1996年 4月 竹中工務店における多変量解析の活用 (財)日科技連 多変量解析研究会
- ③ 2001年11月 竹中工務店における中高年のキャリア開発
日本能率協会マネジメントセンターHRM カンファレンス
- ④ 2004年 1月 キャリアコンサルティングについて 日本産業カウンセラー協会関西支部
- ⑤ 2007年 9月 財団法人と人材育成事業の役割 非営利法人研究学会 全国大会
- ⑥ 2010年 5月 産業コンサルティングを企業の人材育成に生かすには
産業コンサルティング第40回全国研究大会
- ⑦ 2011年 5月 産業カウンセラーの大学での活躍フィールド
産業コンサルティング第41回全国研究大会
- ⑧ 2011年 9月 2年生からのインターンシップ 日本インターンシップ学会第12回大会

4. その他の社会的貢献（現在活動中）

- ① 1982年 4月 S A Sフォーラム学術総会 セッション・チェアマン, 論文査読委員
- ② 2003年 4月 (一般社団法人) 日本産業カウンセラー協会 関西支部倫理委員
- ③ 2005年 5月 (公益財団法人) 竹中育英会 評議員
- ④ 2006年 9月 日本インターンシップ学会 本部広報委員, 関西支部運営委員
- ⑤ 2010年 3月 (公益財団法人) 東大阪市産業創造勤労者支援機構 評議員
- ⑥ 2012年 9月 (公益財団法人) じゅうしん育英会 選考委員

近畿大学商経学会規約

第1条（会の名称）

本会の名称を「近畿大学商経学会」(The Society of Business Studies, Kinki University) とする。

第2条（事務局の設置場所）

本会の事務局は、これを近畿大学経営学部資料室に置く。

第3条（会の目的）

本会は、近畿大学における商学、経営学、会計学をはじめとする関連諸分野の研究・教育を促進し、その成果を広く公にすることを通じて、学界ならびに実社会に寄与・貢献することを目的とする。加えて、構成員の優れた業績を表彰することでその業績を世に知らしめることを目的とする。

第4条（会の事業）

前条の目的を達するために、本会は以下の事業を行う。

- (1) 機関誌『商経学叢』の刊行
- (2) ワーキングペーパーの管理
- (3) その他、研究・教育成果を公表する書籍等の刊行
- (4) 研究会、ワークショップ、学術講演会、セミナー等、研究・教育成果を公表する催事の実施
- (5) その他、前条の目的を達するための事業

第5条（会員資格）

本会の会員は、以下のとおりとする。

- (1) 近畿大学経営学部専任教員（助教、特任教員を含む）
- (2) 近畿大学経済学部専任教員（助教、特任教員を含む）
- (3) 近畿大学大学院商学研究科博士後期課程修了者および満期退学者
- (4) 近畿大学大学院商学研究科博士後期課程在学学生
- (5) 近畿大学経営学部、経済学部、および商経学部の名誉教授

なお、(5)については、その身分を終身会員とする。

第6条（会の組織）

- 1 本会は、以下の役員をもってこれを運営する。
 - (1) 会長
 - (2) 編集委員
- 2 会長には、近畿大学経営学部長が就任し、本会を代表するとともに、会務を統括する。
- 3 会長は、前条(1)に該当する者の若干名に対し、編集委員を委嘱する。
- 4 編集委員に委嘱された者は、経営学部広報・編集委員会編集部に属し、会の運営に当たる。
- 5 編集委員の任期については、各種学部委員の任期に準ずる。ただし、再任・留任を妨げない。

第7条（会の予算）

- 1 本会の予算期間は、4月1日から翌年3月31日までとする。
- 2 本会の活動経費は、経営学部の予算において配分された額をもって、これに充てる。

第8条（著作権について）

第4条に定められた事業を通じて公にされる著作物（音声、映像記録等を含む）の著作権については、その著作物が近畿大学商経学会によって採用もしくは実施された時点で、著作者ないしこれに準ずる者から近畿大学商経学会に譲渡されたものとみなす。

附 則

本規約は、平成23年2月16日より施行する。

近畿大学『商経学叢』に関する規程

第1条（本規程の目的）

本規程は、「近畿大学『商経学叢』に関する規程」（以下、「本規程」と略称する）と称し、近畿大学商経学会規約（以下、「規約」と略称する）第4条(1)に定められた事業を遂行するために必要な事項について定める。

第2条（『商経学叢』刊行の目的）

『商経学叢』は、規約第3条に定められた商経学会の目的を達すべく、会員の研究・教育成果を公表するために刊行される。

第3条（『商経学叢』の編集）

『商経学叢』の編集・刊行作業は、規約第6条第1項(2)に定められた編集委員が、これを担当する。ただし、必要な場合は、これ以外の者を参加させることができる。その際、参加できる者は規約第5条(1)に定める会員に限る。

第4条（『商経学叢』の種別）

『商経学叢』は、以下の種別を有する。

- (1) 通常号
- (2) 記念号
 - ① 退任記念号……………定年退職する教員を対象とする
 - ② 追悼号……………在職中に物故した教員を対象とする
 - ③ その他の記念号……………周年記念等、しかるべき時期に刊行する

なお、記念号の刊行については、別に定める。

第5条（投稿資格）

- 1 規約第5条に定める会員は、『商経学叢』に投稿する資格を有する。
- 2 ただし、会員のうち、規約第5条(3)もしくは(4)に該当する会員については、本規程第6条に定める掲載著作物のうち(1)のみを投稿できるものとし、かつ『『商経学叢』への大学院生投稿論文の査読手続に係る内規』にもとづき、投稿論文の掲載には審査を要する。

- 3 共著による投稿の場合は、共著者のうち少なくとも一名（ただし、第一著者）が会員であることを要する。ただし、近畿大学経営学部教授会の議を経て受け入れた客員教員および客員研究員ないしそれに准ずる者については、共著における第一著者としての投稿資格を有するものとする。この場合の掲載順序については、当該投稿者の本来の勤務先における職位に准じる。
- 4 必要に応じて、会員以外の者に執筆を依頼することができる。

第6条（掲載著作物の種別）

『商経学叢』には、以下の著作物を掲載する。

- (1) 論文
- (2) 研究ノート
- (3) 資料
- (4) 書評

第7条（投稿に関する留意事項）

『商経学叢』に投稿する際には、以下の点を踏まえるものとする。

- (1) 投稿者は、所定の表紙に必要事項を記載し、提出原稿に添付しなければならない。
- (2) 原稿は、ワープロで作成された完成原稿とし、未刊行のものでなければならない。
- (3) 論文に関しては、原稿の本文冒頭に以下の事項を順に記載しなければならない。
 - ① 論題
 - ② 筆者氏名
 - ③ 日本語概要（300字以内）
 - ④ 欧文概要
 - ⑤ 5個以内のキーワード
 - ⑥ 原稿提出日
- (4) 本文中の節番号は1, 2, …と表記し、項番号は(1), (2), …と表記することを原則とする。
- (5) 図表は、図1, 表1と表記し、図表タイトルとともに書くこと。引用した場合

は、出所を図表の下に明記すること。

(6) 注は脚注で表記し、本文中のしかるべき場所に通し番号を付すること。

(7) 参考文献は、本文末に一括してリストを作成すること。その順序については、学界において広く採用されている方法を用いること。

(8) 参考文献の表記方法については、以下の方式を原則とする。

著書【洋文献】…著者名 [刊行年] 書名〈イタリック〉, 出版社もしくは出版地名。

著書【和文献】…著者名 [刊行年] 『書名』 出版社名。

論文等【洋文献】…著者名 [刊行年] 論題, 所収誌名〈イタリック〉, 巻, 号, 掲載ページ。

論文等【和文献】…著者名 [刊行年] 「論題」『所収誌名』 巻, 号, 掲載ページ。

(9) 執筆者校正は、二校までとする。

第8条（著作権）

1 『商経学叢』に掲載が受理された原稿の著作権は、近畿大学商経学会に帰属する。投稿者が当該原稿を他の出版物に転用する場合には、あらかじめ文書によって近畿大学商経学会の許可を得なければならない。

2 『商経学叢』に掲載された原稿については、冊子体以外の媒体で公開されることがある。投稿者は、これを承諾したうえで投稿するものとする。

前号目次〔第59巻 第1号（通巻第165号）〕 2012年7月10日発行

献 辞	浦 崎 直 浩
リース会計の使用権モデルに関する問題点の提起 ——リース期間の決定方法の問題を中心として——	内 倉 滋
投資信託の収益分配金の仕組み	川 口 八洲雄
現代会計構造とレーマン三勘定系統説	郡 司 健
組織構造とビジネス・プロセス ——管理会計における2つの立場——	小 菅 正 伸
税務会計における複式簿記の限界	鈴 木 一 水
連合東インド会社の衰退と会計システム	橋 本 武 久
企業危機と管理の失敗	深 山 明
単式簿記は複式簿記の萌芽なのか ——会計の本質との関連において——	渡 邊 泉
最近の企業経営の課題についての一考察 ——ニックリッシュからの10問を中心にして——	青 山 浩 也
イノベーターのジレンマについての一考察	牧 浦 昭 夫
農業活動における公正価値測定の意味合い ——国際会計基準（IAS）第41号「農業」——	川 原 尚 子
野中郁次郎の知識創造理論の形成と発展	徐 方 啓
ニックリッシュによるリスク・マネジメントについての一考察	牧 浦 健 二
一般に認められた会計原則をめぐる米国裁判所の判断	毛 利 敏 彦
物価変動下における会計上の資本概念と時価概念	山 口 忠 昭
参加型処分行動にアイデンティティ形成意識と 儉約志向がもたらす影響	玉 置 了

譲渡所得の取得費と取得費引継ぎ規定との関係に関する一考察
.....中野浩幸

共有価値創造時代における統合レポートのあり方について
.....戸田統久

ニックリッシュの『経済的経営学』についての一考察（その①）
——研究対象の企業から経営への変更に伴う主要な概念の
検討を中心にして——.....牧浦健二

《Articles》

- Case studies for the solution of the ethical dilemma of counselors
.....Masuyuki Iguchi
- Proactive behavior on a working career
—regarding career perspective and a vocational identity—
..... Kumiko Kirii
- The effects of using campus portal system which favorably
influence proposing of discussion issues..... Masayoshi Takamichi
- Defining the “Traditional Entertainment”
from the Performance Databases..... Yumiko Sakabe
- Exploration of Ultrafast Lattice Dynamics
with Femtosecond X-ray Probe..... Masaki Hada • Jiro Matsuo
- The Relation of the Purchase Effect by the Fractal Dimension
and the SD Method of Product Packaging..... Mayumi Oyama-Higa
- Tri-partition Tree Method as Logical Thinking..... Akira Ichige
- Solving Sudoku Puzzles by SAS®..... Setsuo Suoh
- Present and Future Issues in Organization and Functionalization
of Voluntary Organization for Disaster Prevention
—An Analysis Based on National Web-based Survey—
..... Masahiro Arima
- Spread of the “Sencha Tea” hobby and establishment
of the “Sencha Tea” ceremony in the middle and late Edo period
..... Takuyo Yasunaga
- It is necessary to learn ourselves than to be educated..... Yasuma Matsumoto
- Deployment of new activity in a middle-scale historical museum
—The example of Takenaka Carpentry Tools Museum—
..... Shigeo Kawahata
- Employer’s role and Employee’s role for Prevention of Mental disorder
..... Isao Yano
- Career Formation among People with Disabilities..... Hisayo Ookubo
- Is Food Safety Commensurate with Food Self-Sufficiency ?
—Considering the Perspectives of China and Japan—
..... Hideki Katsuda, Yoshiaki Hattori and Fumio Arakawa
- Which is the real menace, contaminated food imports or bioterrorism ?
..... Hideki Katsuda
- Development of Provisions of Sustainability Information
Disclosure on National and Regional Stock Exchanges..... Naoko Kawahara

Huawei Technology's global management.....	Fangqi Xu
<i>AD Representation</i> of UNIQLO.....	Toshiyuki Senoh
A New Education Model for Thinking about Turning Points of Own Careers	Takahisa Tsuji
Innovation from the View Point of Absorptive Capacity: Based on Some Case Studies.....	Teruyuki Bunno
On the Study of the Education's System for Business Economy in the Weimar era purposed by H. Nicklisch.....	Kenji Makiura
The characteristics of internalized commitment to organization	Kazuki Matsuyama
Some Issues of the Fair Value Concept in Accounting.....	Tadaaki Yamaguchi
Approachability of the Guiding Figure: New Perspectives for Continued Organizational Career Support after Athletic Retirement.....	Olivia C. Ogawa
"Trap of Diversification Strategy"	Nobuyuki Kamikojo
A study on revenue bonds introduced for the road maintenance and improvement.....	Takao Goto
A study on the character of capital gain taxation.....	Hiroyuki Nakano
Brand Equity Management in Integrating Channels and Communication.....	Takeshi Okayama
An Analysis on Revenue Recognition Mechanism under A Concept of Substance over Form.....	Xiaojia Yao

《Note》

A Historic Investigation on the beginning of Japanese Labor Administration.....	Takamasa Nakashima
On the Study of the Theory of Economical Business purposed by H. Nicklisch (part 2).....	Kenji Makiura
Construction of "Idea Development Assist System" using the voice inputting.....	Daisuke Tomo

《Material》

Establishment and Background of the Greater Arita Porcelain Promotion Association	Takehisa Yamada, Takashi Tsutsui, Tadahiko Yoshida and Hiroshi Togo
---	---

編集後記

平成24年3月に八木 章先生は近畿大学経営学部をご退職されました。

本論文集は、八木先生のご退職を機に、学内からは21篇の論文ならびに研究ノート、資料を、また学外からは13篇の論文を諸先生および実務家の方々からご寄稿頂き、合計24篇、700頁を越える論文集となりました。

この論文集が完成をみましたのも、ひとえに執筆者の先生、そして実務家の方々のご協力の賜物であり、編集委員会一同、ご寄稿頂きました皆様に深く感謝申し上げます。

八木先生は、民間企業を経て近畿大学経営学部助教授として着任されました。民間企業ではデータ解析の専門家として経営に貢献されるとともに、労働組合の幹部としても活躍されました。近畿大学では、キャリア・マネジメント学科設立当初から、学科運営やビジネス・インターンシップ授業の立ち上げとその運営にご尽力され、講義やゼミナールの学生への指導に力を注がれました。先生のご講義およびゼミナールは学生からの評判が高く、学生に対してきめ細かくそして、温かく接するお姿は、我々後輩教員にとっての模範でした。先生のご功績に敬意を表するとともに、これまで賜りました薫陶に深く感謝申し上げます。

八木先生におかれましては、くれぐれもご健康に留意され、より広い立場から今後も益々ご活躍されますことを心より祈念いたしております。

『商経学叢』八木 章先生退任記念号編集委員会

岡野 英 伸 松山 一 紀
島 吉 伸 関野 賢
山 縣 正 幸

執筆 者 紹 介 (掲 載 順)

井 口 益 之……シニア産業カウンセラー	川 原 尚 子……近畿大学経営学部教授
桐 井 久美子……富士ゼロックス株式会社	徐 方 啓……近畿大学経営学部教授
高 道 正 能……社会保険労務士	妹 尾 俊 之……近畿大学経営学部教授
坂 部 裕美子……(公財)統計情報研究開発センター研究員	辻 隆 久……近畿大学経営学部教授
羽 田 真 毅……ハンブルグ大学マックスプランク 構造ダイナミクス研究科研究員	文 能 照 之……近畿大学経営学部教授
松 尾 二 郎……京都大学大学院工学研究科附属量子 理工学教育研究センター准教授	牧 浦 健 二……近畿大学経営学部教授
雄 山 真 弓……大阪大学大学院招聘教授・ 関西学院大学名誉教授	松 山 一 紀……近畿大学経営学部教授
市 毛 明……元近畿大学経営学部教授	山 口 忠 昭……近畿大学経営学部教授
周 防 節 雄……兵庫県立大学大学院経済学研究科名誉教授	小 川 千 里……近畿大学経営学部准教授
有 馬 昌 宏……兵庫県立大学応用情報科学研究科教授	上小 城 伸 幸……近畿大学経営学部准教授
安 永 拓 世……和歌山県立博物館学芸員	後 藤 孝 夫……近畿大学経営学部准教授
松 元 保 磨……株式会社竹中工務店元常務取締役	中 野 浩 幸……近畿大学経営学部准教授
川 畑 茂 男……公益財団法人竹中大工道具館事務局長	岡 山 武 史……近畿大学経営学部助教
矢 野 功……株式会社竹中工務店	姚 小 佳……近畿大学経営学部助教
大 窪 久 代……近畿大学経営学部教授	中 島 敬 方……近畿大学経営学部教授
勝 田 英 紀……近畿大学経営学部教授	輅 大 輔……近畿大学経営学部准教授
服 部 義 昭……全国農業協同組合連合会	山 田 雄 久……近畿大学経営学部教授
荒 河 文 雄……株式会社日本アクセス	筒 井 孝 司……社団法人有田観光協会事務局長
	吉 田 忠 彦……近畿大学経営学部教授
	東 郷 寛……近畿大学経営学部准教授

商 経 学 叢 第59巻第2号 (通巻第166号)

2012年12月25日印刷

2012年12月25日発行

編 集 近畿大学商経学会

発行人 山口忠昭

発行所 東大阪市小若江3丁目4番1号

近畿大学経営学部

郵便番号 577-8502 電話番号 (06)6721-2332(代)

印刷所 近畿大学 管理部 用度課 (出版印刷)

 **近畿大学**